

CS だより

日本キリスト教団逗子教会
牧師 小宮山剛
校長 渡辺 信

聖書のことば

『七回どころか、七の七十倍までも赦しなさい』マタイによる福音書 18章 22節
これは「何回他人をゆるしたらいいのですか？」という弟子の質問に対するイエス様の答えです。文字通りに理解すれば、7×70=490回ゆるせば終わりだと考えてしまうかもしれません。しかし、聖書の世界では7は完全を表す特別な数字です。だから、ここでは「限りなくゆるしなさい」という意味になります。ゆるすとは、愛することにつながります。そして幸せや平和をもたらします。イエスは生涯をかけて、「ゆるすこと」を人々に教えました。

(『イエスのことば100』より)

厳しい残暑が続きますが、元気にすごしていますか？体調には十分気をつけましょうね。蝉の声も、「ミーンミーン」「ジージー」から、「ツクツクポーシ」に変わってきて、もうすぐ「カナカナ」も聞かれる頃となりました。暑い夏もあと少し・・・。

ところで、8月16日(日)は、逗子教会の創立記念礼拝でした。これまでの70年以上の年月、神様が、逗子教会とそこに繋がる私たちを守り導いてくださったことを感謝します。

逗子教会には、昨年からは吉村巴恵(よしむらともえ)神学生が与えられ、これまでも、主日礼拝やCS礼拝で説教をしてくださっていますが、9月は、狛江教会の加藤隆(かとうたかし)神学生がいらっしやいます。6日(日)はCS礼拝で、13日(日)は主日礼拝で説教をしてくださいます。一緒に耳を傾けましょう。

~~~~~ここからは、礼拝でのお話です~~~~~

## 8月16日の説教から 『キリストに倣って』

新約聖書：使徒言行録 26章 19～25節  
こどもさんびか：97 『うつくしいあさも』  
25 『たたえよしゆのたみ』

パウロは、神様から、ユダヤ人ばかりでなく世界中の人々に、イエス様が救い主であること、十字架に架けられて死んだ後神様によって復活された一番初めの方(初穂)であることを、述べ伝えなさいと命じられました。ガチガチのユダヤ教徒で、しかもキリスト教徒を迫害していたパウロに、イエス様は「何故私を迫害するのか？」と呼びかけました。強い光を受け、目の見えなくなったパウロは、心から自分のしてきたことを悔い改めて(回心といいます)、イエス様を救い主と信

じるキリスト教徒になりました。そして、イエス様の言葉を教える伝道者に選ばれたのです。これは、自分の意思ではありません。神様によって、自分を迫害する人を含めて全ての人が、神様にたち帰るようにと伝道者にさせられたのです。

そして伝道者になったパウロは、私たちが想像出来ないくらいたくさんの困難に遭いました。今までとは反対に、ユダヤ教徒から迫害されて、何度も殺されそうになりました。「今日は殺されるかも知れない。エルサレムに行かないでください。」という弟子達の願いを振り切って、エルサレムに、キリスト教の伝道に行きました。弟子達が心配していたとおり、パウロを憎らしく思っている人々に、神殿でとらえられてしまいました。パウロを憎らしく思っている人々は、色々な手段で、当時の権力者も巻き込み、パウロを殺そうとしました。パウロは、自分に対して正パウロは、神様から、ユダヤ人ばかりでなく世界中の人々に、イエス様が救い主であること、十字架に架けられて死んだ後神様によって復活された一番初めの方(初穂)であることを、述べ伝えなさいと命じられました。ガチガチのユダヤ教徒で、しかもキリスト教徒を迫害していたパウロに、イエス様は「何故私を迫害するのか？」と呼びかけました。強い光を受け、目の見えなくなったパウロは、心から自分のしてきたことを悔い改めて(回心といいます)、イエス様を救い主と信じるキリスト教徒になりました。しい裁判をして欲しいと主張しました。その願いが、聞き入れられ、裁判が開かれました。ローマ帝国の総督フェストスと、ユダヤを統治するアグリッパ二世(ヘロデ王の曾孫)の前で裁判が開かれ、パウロは弁明しました。今日のカードはその場面です。



パウロは、「自分は熱心なユダヤ教の信者でしたが、復活されたイエス様に呼びかけられ、自分を変えられました。そして、全ての人を神様にたち帰らせ、神様からの恵みを受けることができるようにするために、イエス様の証人となったのです」と証言しました。

23節の御言葉「メシアが苦しみを受け、また、死者の中から最初に復活して、民にも異邦人にも光を語り告げることになる・・・」は、今日のお話の中心で、大切なメッセージです。イエス様の十字架の苦しみと復活は、この私のため・・・神様が私たちを愛して下さっている大きな恵みなのです。イエス様を信じ、イエス様に倣う者になる事が、私たちが神様の元に帰るための唯一の手段なのです。

今年はコロナの影響で私たちの生活は大きく変わりました。高齢の私は死を考え、自分の生きてきた道を振りかえさせられて

います。パウロは、イエス様に倣って一生を伝道者として働きました。私は何をしてきたらうか？イエス様を信じて洗礼を受け、私も頑張ってきたつもりですが、神様からのたくさんの恵みを頂いているのに、神様のために何かをお返しできたららうかと、反省ばかりしています。

今、私は何ができるだろう。残された命を、神様に生かされている喜びを隣の人に少しでも伝え、イエス様を信じ、イエス様のあとについて、一日一日を大切に生きて行きたいと思ひます。

<N. A>

## 8月23日の説教から 『元気を出して進もう』

新約聖書：使徒言行録 27 章 33～44 節

こどもさんびか：9 『めぐみうけて』

25 『たたえよ、しゅのたま』

皆さんは船に乗ったことがありますか？船に乗るととっても気持ちがいいですね。でも、嵐が来て海が荒れると大変です。パウロさんの乗った船も嵐に遭いました。この船には、パウロさんだけじゃなくて、たくさんの方が乗っていました。その船がひどい嵐に遭ったのです。グラグラ揺られて、海に沈んでしまうんじゃないか。みんな怖くて、助からないかもしれないと、不安になってきました。ご飯を食べることもできなくなりました。そんな日が何日も続きました。「もうだめだ、助からない。」そう思う人が出てきました。でも、パウロさんは違いました。

カードを見てください。前の人や真ん中の人、怯えているのかな。「あー、どうしよう。」と思



っている人たちがたくさんいたのかもしれないね。でも見てください。上にいる人。上を向いている人、これがパウロさんです。みんなが不安になっている中、パウロさんだけは違いました。みんなにこう言ったのです。「元気を出しなさい」どうしてパウロさんはこんなに平気だったのでしょうか。それはパウロさんのところに来てくださった神さまの御使いが、パウロさんに語りかけてくれたからです。「あなた（パウロ）はローマ皇帝の所に必ず行くことになっている」パウロさんはそれを信じた。そして自分もみんなも助かることを信じていました。パウロさんは、神さまの言葉を聴いて信じたから、みんなに「元気を出しなさい」と力強く言うことができました。パウロさんは、みんなを励まし続けました。そしてみんなの前で、神さまに感謝の祈りをささげてから、パンを裂いて食べ始めました。このカードは、神さまにお祈りをしているところだね。みんな下を向いている中、パウロさんは上を

向いて、手を広げて「神さま、感謝します」って、そうお祈りしました。パウロさんの姿を見て、みんな元気になっていきました。そして久しぶりに食事をする事ができたのです。神さまの言葉を聴いて信じる人は、周りのみんなに元気を分け与えることができます。長い間食事もしなかったら、神さまの言葉を聴くこともままならなかったかもしれません。だからパウロさんは、まず食事をして元気になることが大切だと考えたのです。

私たちも神さまの言葉を聴いて、元気に生きていくことが大切です。神さまは日毎の糧（食事）以上に、私たちに何を与えてくれたのでしょうか。それは大切な独り子、イエスさまです。イエスさまから与えられる救いは、髪の毛一本もなくなることがないほどに確かな、ゆるがぬものです。こうして船のみんなは、食事をして元気になりました。そして船は、本当に陸地にたどり着きました。陸地に着く前、船は海の浅くなったところにぶつかって、壊れてしまいました。でも、みんな助かったんです。神さまのお言葉通りです。

お祈りして、パンを裂いて食べているカードの絵。パウロさんたちは、教会の中で行われる“聖餐式”というものを思い出しながら食べたと思います。イエスさまを信じて、洗礼を受けた人が与ることができる聖餐。それは、イエスさまがここにいてくださることをはっきりと表します。パウロさんはこの船の中で誰よりもイエスさまが共にいてくださることを信じていました。パウロさ

んの姿を見て、みんなも元気になりました。私たちもいつも聴いています。「イエスさまは共にいるよ」って。この言葉を聴いて、私たちも元気を出して進んでいきたいと思ひます。そして周りのお友達にも「イエスさまは、いつも共にいるよ」ってそう言いたいと思ひます。この一週間も、イエスさまと共に歩いていきましょう。

<吉村巴恵 神学生>

\*カードの出典：日本基督教団福音主義教会連合

## お知らせ

9月第3日曜日は、毎年『敬老合同礼拝』として、CS礼拝も、10時半からの主日礼拝と合同で行なってきました。今年は、コロナの影響で中止になり、9月20日（日）のCS礼拝はいつもの9時からになります。

でも、敬老のお祝いの気持ちを込めて、

カードはCSで作りたいと思ひます。9月6日（日）と13日（日）の礼拝後、少し時間（15分位）、カード作りのお手伝いをしていただくと嬉しいです。

今年は、逗子教会に繋がっている77歳以上の方は、89名いらっしゃいます。CS礼拝に来られないお友だちも、この方たちのご健康が守られますよう、お祈りしていただひきね。



\*逗子教会 CS についてのお問い合わせはこちらへどうぞ！

電話：046-873-8724 ファックス：046-854-7712 メール：cs@zushikyokai.holy.jp